

# 意味分野から捉えるNEWS WEB EASYと 朝日小学生新聞の語彙

－使用率と使用頻度に着目して－

近藤 めぐみ（福井大学非常勤）

## 要 旨

「やさしい日本語」による初級でのニュース導入を目指し、NEWS WEB EASY (NWE) と朝日小学生新聞（朝小）を素材に対象者や媒体が異なるニュース語彙を意味分野の観点で比較する。対象記事は2016年6月～2017年3月のNWE 962本、朝小552本で、分類には『角川類語新辞典』を用いる。NWEと朝小は意味分野ごとの使用率が類似し、10の大分類中、[性状]が約25%、[変動][行動][社会][学芸]が約10%を占めている。NWEは難度が低い[行動][変動]動詞の使用率が高く、朝小はサ変動詞になり得る漢語名詞にも使用率の高い語がある。基本動詞は難度が低いが多義性があり、辞書を使えば、多義語動詞よりも漢語名詞のほうが意味の特定は容易である。朝小は記事が短く、NWEに見られる記事の筋から逸れた「嬉しい」などの[性向]のイ形容詞が高頻度語にない。記事の短さはやさしさにつながるが、発話引用の[性向]イ形容詞のように、記事を長くしても、状況理解の助けになる語もある。

**【キーワード】**：「やさしい日本語」ニュース ニュースの語彙 意味分野 使用率  
使用頻度

## 1. 「やさしい日本語」とニュースの語彙

「やさしい日本語」は阪神淡路大震災を契機に、外国人に対する緊急時の情報対応として取り組みが始まり、弘前大学の調査<sup>1)</sup>によれば、2015年時点では47都道府県で活用されている。また現在では、外国人定住者に限らず、観光客、年少者、ろう児、知的障害者など様々な対象者向けの「やさしい日本語」がある。

こうした様々な対象者向けの「やさしい日本語」は、開発途上のもの、運用中の動的な日本語として捉えることができる。しかし本稿では、制約を加えた「やさしい日本語」によるニュース（以下、「EJ News」）を現時点での完成されたひとつの日本語と捉え、その語彙の特徴を知ること为目标とする。これは、海外の社会人の初級学習者から発せられる「ニュースで勉強したい」という欲求に応える方法を探るためである。

EJ Newsを対象にした語彙調査では、「初級段階でのニュース授業の展開は難しい」（近藤2015：85）との見解がある。それでも、EJ Newsの難度が一般向けのニュース

より低いことは確かであり、提供側がEJ Newsへの書き換えで情報の受け手に近づいたのであれば、受け手である初級学習者もEJ Newsへと歩み寄ることで、初級者にはニュースは難しいという状況を打破する方法もあるのではないだろうか。EJ Newsのための日本語が、先の社会人日本語学習者の欲求に応えるひとつの方法であるのなら、その日本語の特徴を明らかにしていきたいと思う。

NHKのEJ News、NEWS WEB EASY（以下、「NWE」）への書き換えでは、文法よりも語彙の制限が難しいとの報告がある（田中ほか2013）。つまり、日本語の総合力を上げてEJ Newsに近づいてきた学習者がいた場合、最後まで問題となるのは文法よりも語彙である。本稿がEJ News語彙の特徴を知ろうとする理由はその点にある。やさしく書き換えられて対象者に歩み寄ったEJ News、日本語学習を積み重ねてEJ Newsに近づく対象者、その歩み寄った両者の接触を早めるため、本稿では、EJ News語彙を意味分野の観点から検討していきたい。

ニュースの意味分野を対象とした研究には、発局元別に意味分野や旧日本語能力試験（以下、「日能試」）基準での級外語彙を示した金庭（2010）がある。金庭（2010）は、テレビニュースで使われる日能試1級該当の約8,000語を超える語彙について『分類語彙表』を用いた分類を行っている。ニュースで扱われる語の分野を示している点で本研究と共通するが、ニュースの対象者や媒体は異なる。また、NWE語彙の意味分野を対象とした研究に近藤（2016）があるが、対象期間は2か月のみで高頻度語彙に限られ、ニュースの全体像を捉えることは難しい。本稿では近藤（2016）と同様に、『角川類語新辞典』で分類を行うが、期間を10か月とし、2種のEJ News<sup>2)</sup>、NWEと朝日小学生新聞（以下、「朝小」）の全ての実質語を対象とする。対象者や語彙制限の基準が異なるEJ Newsを比較し、その共通点と相違点を示し、EJ News語彙の性質を知る試みとしたい。

## 2. 対象資料

2016年6月～2017年3月の10か月間のNWEと朝小を対象とする。EJ Newsとしてこの2種を選んだのは、NWEは元来、外国人向けに書かれたウェブニュース、朝小は小学生を対象とした新聞であり、対象者や媒体が異なることが第一に挙げられる。また、NWEは平日に4、5本のやさしい日本語ニュースを安定的に配信し、かつ、母語話者への読解実験で日本語の自然さが保証されている（田中・美野2011）こと、朝小は国内では紙面で、国外では電子版の購読が可能なおことから居住地を問わず使用可能な題材であると考え、対象とした。NWEはウェブ上から取得したもの、朝小は海外電子版を打ち直したものを、いずれもルビを除いた状態で用いる。

NWEについては、製作者らによる公開実験前後の報告があり（田中ほか2013等）、定住外国人へニュースをわかりやすく伝える意義や、NWEへの書き換え基準などが詳述されている。具体的には、日能試3、4級の語彙・文法を原則とすること、文長に注意することなどが書き換え基準として挙げられている。

朝小では記事に用いる日本語の原則は明文化されていないが、記者経験者である編集長や副編集長（デスク）から、表記、文体、文長などの原則のようなものが記者に受け継がれ、デスクが記事の確認を行うことで質が担保されている。なお、本稿ではNWEとの比較のため、朝小はNWE同様に短い記事がほぼ毎日複数本掲載される、一面の「ニュースあれこれ」に限って扱うが、朝小の一面の記事では、「小学4、5年生が無理なく読める」ような表現、語彙が一つの目安とされている。<sup>3)</sup>

NWEは合計962本で、〈国際〉233本、〈社会〉196本、〈科学・文化〉164本、〈ビジネス〉96本、〈暮らし〉94本、〈スポーツ〉92本、〈気象・災害〉46本、〈政治〉29本の8ジャンル950本に加え、ジャンル不明が12本ある。朝小は10ジャンル計552本で、〈社会〉213本、〈国際〉83本、〈スポーツ〉67本、〈話題〉56本、〈教育〉38本、〈科学〉37本、〈政治〉30本、〈経済〉11本、〈環境〉10本、〈文化〉7本、である。なお、NWEのジャンルはリンク先の書き換え元「普通のニュース」から判断した。

### 3. 語彙分類手順

語彙の分類はunic-d-mecab 2.1.2、茶まめVer.2.0 (2012.12.12)、実質語の抽出はMicrosoft Office Excel 2016のPivot Tableで行う。実質語は、助詞、助動詞、接辞、記号、補助記号、空白を除いたものとし、語彙素、語種、語彙素読みにより語の認定をし、すべて同じならば同一語、いずれかが異なれば別語として扱う。

意味分野の分類には『角川類語新辞典』を用いて、[自然][性状][変動][行動][心情][人物][性向][社会][学芸][物品]の10の大分類に[分類なし]を加えた11に手作業で分け、複数の意味分野に分類される語については、出現回数を該当の大分類に等分して数えた。例えば、「調べる」はNWEで312回出現した語であり、意味分野は[行動][心情][社会][学芸]の4つの大分野に属するため、各分野で78回ずつ使用されたと仮定し、312回を4分野に等分して数えた。なお、出現数の等分により、分野ごとの語の出現数が整数にならなかった語もある。NWEで意味分野が1つに特定できた語は延べ語数67.1%、異なり語数86.0%である。複数の意味分野に分類される語のうち、意味分野が2つのものは延べ語数、異なり語数の順に26.8%、10.9%、3つのものは順に3.7%、2.6%、4つのものは順に2.3%、0.4%、5つのものはいずれも0.1%である。朝小では意味分野が1つに特定できた語は延べ語数75.0%、異なり語数84.0%で、2つの意味分野に分類されるものは順に21.7%、13.1%、3つのものは順に2.3%、2.4%、4つのものは順に0.9%、0.4%、5つのものはいずれも0.1%である。NWE、朝小ともに6つ以上の意味分野に属す語はなかった。

## 4. NWEと朝小語彙の意味分野

### 4. 1. 延べ語数・異なり語数

NWEで使用された語彙は延べ語数95,853語、異なり語数4,757語、朝小は延べ語数

43,101 語、異なり語数 5,599 語である。表 1 に示すのは、各意味分野の語数の詳細であるが、延べ語数は四捨五入した値であり、異なり語数は複数の意味分野に属す語があるため各意味分野の和は全体の異なり語数よりも大きい。

表 1 NWE、朝小のそれぞれの意味分野で使用された語数（語）

		自然	性状	変動	行動	心情	人物	性向	社会	学芸	物品	なし
NWE	延べ	5990	23355	9658	9374	5625	4219	3147	9195	11010	3558	10722
	異なり	522	542	340	346	380	223	251	451	335	470	1742
朝小	延べ	2265	10540	4764	3219	3580	1852	860	4877	5202	798	5144
	異なり	474	790	652	648	702	267	269	736	362	293	1485

延べ語数は NWE が多いが、異なり語数では [自然] [物品] [分類なし] を除く 8 つの意味分野で朝小が多い。朝小は NWE よりニュースの本数が少なく、記事長も短いいため延べ語数は少ないが、大半の意味分野の異なり語数では NWE より多く、朝小を読むために求められる語彙は NWE よりも多いことがわかる。

#### 4. 2. 高頻度語

NWE、朝小語彙の意味分野ごとの高頻度上位 30 語を表 2 に示す。[変動] [行動] は動詞が多い分野であり、NWE ではどちらも 25 語が動詞だが、朝小は順に 12 語、15 語の名詞が含まれる。一般に、動詞は名詞よりも汎用性が高い。NWE では語彙に強い制限が加えられたことで難度の低い動詞が高頻度で使用されたと考えれば、NWE は難度の低い動詞と、辞書を引いてわかる難度の高い名詞で構成されているとの解釈も成り立つ。しかし、難度が低く汎用性の高い動詞は多義語である場合が多く、NWE を対象とした近藤 (2016) では「易しく見えて難しい語」として、多義語を取り上げている。

実際、[変動] [行動] の高頻度 30 語の名詞を見ると、「影響」や「開催」のように、サ変動詞になりうる名詞が目立つ。非漢字圏の初級学習者にはこれらの漢字や熟語は難しいと考えられるが、辞書を使うことを想定すれば、これらのサ変動詞の意味の特定は多義語動詞より容易ではなかろうか。そうした点を考慮すれば、EJ News を読む際の辞書使用の有無、あるいは学習者の多義語の意味の広がりを考える力の程度といった要素も、EJ News の難易に影響すると言える。

#### 4. 3. 使用率

##### 4. 3. 1. 共通した特徴

NWE、朝小の意味分野ごとの語の使用率は表 3 に示すように、似た傾向が見られる。[性状] が 25% 弱で最も割合が高く、[変動] [社会] [学芸] と [分類なし] は 10% 前後、[人物] [性向] [物品] の使用率はいずれも 5% を下回っている。[性状]

表2 NWE、朝小の意味分野ごとの高頻度上位30語<sup>4)</sup>

	自然		性状		変動		行動		心情		人物		性向		社会		学芸		物品		
	NWE	朝小	NWE	朝小	NWE	朝小	NWE	朝小	NWE	朝小	NWE	朝小	NWE	朝小	NWE	朝小	NWE	朝小	NWE	朝小	
1	年(漢)	年(漢)	零	ゼロ	為る	為る	居る	居る	考える	調査	人	選手	人	事故	県	県	事	朝小	車	朝小	
2	今年	今年	居る	一	成る	成る	有る	有る	分かる	研究	選手	大統領	欲しい	人	為	市	一	朝小	建物	メダル	
3	出来る	去年	一	三	亡くなる	因る	言う	使う	研究	問題	大統領	委員	高い	事件	市	発表	二	朝小	メダル	ミサイル	
4	去年	今年	三	二	来る	増える	言う	使う	思う	分かる	子供	首相	事故	体	会	会	月(漢)	朝小	船	票	
5	地震	死亡	二	五	出来る	影響	話す	労働	決める	対策	女性	首相	体	安全	大学	大学	日(漢)	朝小	金(和)	炬	
6	水	地震	五	四	増える	結果	来る	行く	決める	案	男性	知事	一緒	技術	都	都	言う	朝小	機械	テレビ	
7	宇宙	宇宙	四	六	因る	続く	出来る	話す	見付かる	案	自分	女性	病氣	高い	世界	世界	為	朝小	ロボット	物	
8	金(漢)	来(漢)	此の	九	始める	連続	貰う	見る	見る	目指す	客	人	スマート	出身	警察	学校	円	朝小	原爆	金(和)	
9	海	原子	有る	八	始める	越える	行く	示す	作る	計画	グループ	女子	有名	スマート	選挙	店	年(漢)	朝小	テレビ	原爆	
10	来(漢)	電力	六	七	行く	始める	行く	会議	問題	予定	難民	男子	事件	健康	全国	全国	件	朝小	列車	商品	
11	夜	核	九	居る	続ける	始まる	仕事	運転	賞	見る	知事	プロ	大きい	震災	国	国	言う	朝小	ピザ	台	
12	雨	公園	七	万	作る	減る	住む	受ける	知る	優勝	大臣	児童	強い	被害	国際	国際	為	朝小	食べ物	トラック	
13	山	年間	八	有る	出す	受ける	運転	企業	調べる	考え	家族	議員	嬉しい	強い	政府	政府	前	朝小	電車	ハム	
14	雪	発電	万	以上	止(や)める	壊れる	運転	働く	楽しむ	判断	他	国民	安全	記録	大会	大会	前	朝小	カメラ	ロボット	
15	津波	厚生	中	初めて	壊れる	壊れる	作る	働く	支援	見付かる	委員	男性	危険	危険	会社	会社	箇月	朝小	コンピュータ	薬物	
16	毎年	出来	今	億	出る	つく	出す	開催	計画	賞	赤ちゃん	男子	悪い	最	為	為	時間	朝小	家	ネット	
17	公園	衛星	以上	千	入れる	自動	利用	出来る	売る	教育	皆	代表	奇麗	不明	区	区	対象	朝小	ビル	温室	
18	川	自殺	五輪	五輪	続く	代	出る	来る	決まる	教育	私	大臣	震災	怪我	警察	警察	科学	朝小	タコ	建物	
19	朝	爆発	新しい	数	取る	出来る	取る	認める	避難	決定	年寄り	天皇	大切	技能	市場	市場	キロ	朝小	物品	銃	
20	地球	地球	多い	過去	入る	来る	調べる	開発	実験	勝(漢)	男	市長	直ぐ	自由	町	町	号	朝小	部屋	燃料	
21	魚	夏	後	無い	変える	打ち上げる	食べる	利用	助ける	禁止	職員	投手	足	能力	府	府	メートル	朝小	バス	舞台	
22	衛星	鳥	良い	可能	結果	続ける	人工	参議	乗る	求める	国王	名人	癌	心配	駅	駅	一番	朝小	物(和)	列車	
23	今月	今月	大きな	前	走る	対	工事	発射	守る	避難	首相	生徒	怪我	知能	チーム	チーム	時間	朝小	葉	将棋	
24	動く	鉄道	無い	最高	自動	飛行	下さる	表明	陸害	確認	国民	国民	生徒	心配	法	法	時間	朝小	木	側	
25	鹿	道	少ない	国内	飛行	成立	乗る	航空	競争	指導	家	家族	又	又	情報	情報	語	朝小	ドア	バス	
26	ウイルス	道	少ない	此の	終わる	関連	乗る	航空	知る	知る	プロ	学生	又	又	村	村	回	朝小	ロケット	ロケット	
27	一日	動物	多い	時間	平均	効果	歩く	演説	教える	違反	医者	学生	健康	不安	施設	施設	キロメートル	朝小	荷物	原油	
28	道路	夜	近い	内	関係	変わる	見せる	給食	意見	決まる	つく	市民	頭	有識	テロ	テロ	所	朝小	着物	作り	
29	先月	冬	初めて	初	打ち上げる	延期	書く	使用	協力	公開	総理	会長	若い	不足	サービス	サービス	書く	朝小	台	食品	
30																			朝小	ハリコブター	段

表3 NWE、朝小の意味分野ごとの語彙の使用率

	自然	性状	変動	行動	心情	人物	性向	社会	学芸	物品	なし
NWE	6.2%	24.3%	10.1%	9.8%	5.9%	4.4%	3.3%	9.6%	11.5%	3.7%	11.2%
朝小	5.3%	24.5%	11.0%	7.5%	8.3%	4.3%	2.0%	11.3%	12.1%	1.8%	11.9%

の使用率が高いのは、数詞や「いる」「ある」といった極めて高い頻度の語が属するためである。ニュースでは、日付や物の多少など数値を明確にすべきことが多く、こうした語の使用頻度が高くなり、意味分野全体の使用率を上げる要因となっているが、これはEJ Newsではなく、ニュースの日本語の特徴である。

〔人物〕には、「大統領」「選手」「子ども」のように、使用頻度の比較的高い語もあるが、ニュースでは人名（固有名詞）が用いられることも多い。固有名詞は〔人物〕ではなく〔分類なし〕として数えているため、結果的に人物語彙の使用率は下がる。また、人物による行為でも、「東京都は」のように伝えられることもあり、これも〔人物〕語彙の使用率を下けている一因である。NWEでは人名や組織名などの固有名詞は文字に色が付けられ、朝小では人物写真が載せられることもある。こうした色や写真も含めてのEJ Newsではあるが、逆に言えば、羅列された文字列の中で理解の手助けを伴って現れる固有名詞は〔人物〕語彙に現れない難しい「人物」の語だとも言える。

〔物品〕の使用率の低さは、使用頻度の高い語が数語しかないことが主因である。「車」はビジネス、パレード、政策など、あらゆる記事で使われる。「メダル」は〈スポーツ〉やオリンピック関連の〈政治〉記事などに偏りがちではあるが、繰り返しニュースに登場する語である。しかし、表2に示した上位30語でも、「温室」「ドア」「原油」などは汎用性が低い語であり、〔物品〕には特定のニュースでしか用いられない語、具体的な物を指す名詞が多く含まれている。また、〔性向〕で使用頻度が100を超えるのはNWEの「人」1語で、朝小にはない。〔物品〕も〔性向〕もその時々を読むニュースにより、その都度必要とされる語彙を補っていくのが現実的であろう。

#### 4. 3. 2. 使用率の低い分野における違い

NWEと朝小を比べると、使用率の低い分野での違いが目立つ。NWEが特に高いのは〔物品〕〔性向〕で順に朝小の2.1倍、1.7倍、朝小が特に高いのは〔心情〕でNWEの1.4倍である。〔物品〕〔性向〕〔心情〕の3つの大分類の語彙がどのような環境で使用されているのかを見るため、各ニュースジャンルで何%使用されているかを表4、表5に示す。表の上段は左側から順に本数の多いジャンル、左端は意味分野である。

表4 NWEのニュースジャンルごとの【物品】【性向】【心情】語彙の使用率

	国際	社会	科学文化	ビジネス	暮らし	スポーツ	気象災害	政治
物品	2.7%	3.5%	3.2%	5.5%	5.6%	4.0%	3.3%	2.0%
性向	3.4%	3.5%	4.2%	2.8%	3.6%	2.3%	3.7%	2.2%
心情	6.4%	6.1%	6.3%	4.8%	4.2%	6.5%	5.7%	7.3%

表5 朝小のニュースジャンルごとの【物品】【性向】【心情】語彙の使用率

	社会	国際	スポーツ	話題	教育	科学	政治	経済	環境	文化
物品	1.8%	1.3%	2.1%	3.6%	1.0%	1.3%	0.7%	2.7%	1.7%	1.9%
性向	2.4%	1.6%	1.6%	1.5%	1.8%	2.3%	1.3%	1.5%	1.9%	2.1%
心情	8.2%	9.2%	7.2%	5.4%	11.3%	9.6%	9.2%	4.5%	8.2%	7.0%

【物品】はNWEの使用率が朝小よりも高く、中でも〈暮らし〉〈ビジネス〉の割合が高い。NWE〈暮らし〉と朝小〈話題〉は対象となる記事が似ており、朝小〈話題〉は使用率も比較的高いが、ほかの朝小記事は低い。NWEで比較的使用率の低い〈政治〉〈国際〉ジャンルは朝小でも低く、使用率はジャンルによる影響も受けており、朝小には〈ビジネス〉ジャンルがないことも一因に、NWEとの使用率に大きな違いがあると考えられる。

【性向】もNWEの使用率が朝小よりも高い。ニュースジャンルごとに使用率が異なるものの、【性向】は【物品】より使用率の差が小さく、ニュースジャンルよりも朝小全体で使用される【性向】語彙が少ないことがNWEとの使用率の違いを生んでいる。NWEに特徴的なのは、イ形容詞の高頻度語が複数ある点であり、例えばNWEで8ジャンルすべて、計40回使用された「嬉しい」は朝小では全体で3回しか使われていない。これは、NWEでは様々な人の発言を取り入れている一方で、記事長がNWEよりも短い朝小では一個人の発言が盛り込まれている記事が少ないためである。こうした人々の発言は1本のニュースから見て内容の核にはならないが、その発言により、状況理解が容易になることも多い。こうした核ではない部分が、NWEの記事長を朝小よりも長くしている。記事が長くなることがニュースをやさしくするという一例である。

他方、【心情】は朝小の使用率がNWEよりも高い。特に高いのは〈教育〉であり、このジャンルはNWEにはない。〈教育〉ジャンルで高頻度の語は「調査」「入試」「学習」「試験」のような【心情】中分類 {学習} の語である。朝小には中学入試を意識した記事も多く、〈教育〉に限らず、ほかのジャンルでも教育に関連した内容が取り上げられやすい。【心情】の使用率が高いのはEJ Newsでも朝小特有の傾向だと言える。

## 5. まとめ

NWEと朝小は意味分野ごとの使用率が類似しているが、それぞれに特徴がある。NWEには使用率の高い【行動】【変動】の動詞が多く、それらは難度が低いものが多

い。朝小は記事長が短く、異なり語数が多い一方で〔性向〕のイ形容詞が高頻度語に入らない点に特徴がある。これらの特徴を踏まえると、NWEに学習者が近づくには日能試3、4級語彙には問題がないレベルに達した上で、動詞をはじめとした語の意味の広がりを考える力を養っていく必要があるだろう。朝小は本文が短いため、1語1語の意味を辞書などで確認していくことで読める媒体ではあるが、文法等の制限が日能試基準でない点などは考慮すべきであろう。

今後は複数の意味分野に属す語を正確にそれぞれの分野に振り分けることで、NWEと朝小の特徴も見え、学習者がEJ Newsにどのように歩み寄れるかということも見えてくるのではないだろうか。

## 注

- 1) 弘前大学 <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/EJ2shitsumon.htm> (2019年8月29日 アクセス)
- 2) 朝日小学生新聞は小学生向けに記事の日本語を調整しており、本稿では「やさしい日本語」の一種であると考ええる。
- 3) 朝日学生新聞社広報・教育メセナ部の回答による。
- 4) 表記はPivot Tableの語彙素の分類を反映しており、NWE、朝小の表記とは異なる。また、表内で上下の区切りがない箇所はその意味分野での出現数・順位が同じ語である。

## 参考文献

- 大野晋・浜西正人 (2012) 『角川類語新辞典』 角川学芸出版
- 金庭久美子 (2010) 「ニュース語彙の特徴分析」『横浜国立大学留学生センター教育研究論集』 17、65-82
- 近藤めぐみ (2015) 「『やさしい日本語』 ニュースの『やさしさ』 を考える——一般ニュースとの語彙の難易度比較と『難しい』語彙の属性——」『国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要』 12、77-86
- 近藤めぐみ (2016) 「やさしい日本語ニュース語彙の意味分野と語の難度——高頻度語彙を対象に——」『日本研究教育年報』 20、19-38、東京外国語大学
- 田中英輝・美野秀弥 (2011) 「日本語母語話者による『やさしい日本語ニュース』の読解実験」『言語処理学会第17回年次大会予稿集』、758-762
- 田中英輝・美野秀弥・越智慎司・柴田元也 (2013) 「3章『やさしい日本語』による情報提供」庵功雄・イ・ヨンスク・森篤嗣 (編) 『『やさしい日本語』は何をを目指すか——多文化共生社会を実現するために——』 ココ出版、31-57